令和4年診療報酬改定

改定を巡って

（１）中医協（医療技術評価分科会）、日医への要望事項と結果について

保険医療委員会　委員長
川嵜　良明

診療報酬改定について

昨年１２月２２日の予算大臣折衝を踏まえ、令和４年度の診療報酬改定は、以下のとおりとなった。

（　）内は令和2年改定

１．**診療報酬**　**＋０．４３％**（＋０．５５％）

１ うち、※２～５を除く改定分　**＋０．２３％**（＋０．４７％）

各科改定率	医科	**＋０．２６％**（＋０．５３％）
	歯科	＋０．２９％（＋０．５９％）
	調剤	＋０．０８％（＋０．１６％）

２ うち、看護の処遇改善のための特例的な対応 **＋０．２０％**

３ うち、リフィル処方箋（反復利用できる処方箋）の導入・活用促進による効率化　**▲０．１０％**

（症状が安定している患者について、医師の処方により、医療機関に行かずとも、医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できる、分割調剤とは異なる実効的な方策を導入することにより、再診の効率化につなげ、その効果について検証を行う）

４ うち、不妊治療の保険適用のための特例的な対応　**＋０．２０％**

５ うち、小児の感染防止対策に係る加算措置（医科分）の期限到来　**▲０．１０％**

なお、歯科・調剤分については、感染防止等の必要な対応に充てるものとする。

２．薬価等

（　）内は令和2年改定

① 薬価　　▲１．３５％（▲０．９９％）

※１ うち、実勢価等改定　　▲１．４４％（▲０．４３％）

※２ うち、不妊治療の保険適用のための特例的な対応　　＋０．０９％

② 材料価格　　▲０．０２％（▲０．０２％）

なお、上記のほか、新型コロナ感染拡大により明らかになった課題等に対応するため、良質な医療を効率的に提供する体制の整備等の観点から、次の項目について、中央社会保険医療協議会での議論も踏まえて、改革を着実に進める。

- 医療機能の分化・強化、連携の推進に向けた、提供されている医療機能や患者像の実態に即した、看護配置７対１の入院基本料を含む入院医療の評価の適正化
- 在院日数を含めた医療の標準化に向けた、ＤＰＣ制度の算定方法の見直し等の更なる包括払いの推進・ 医師の働き方改革に係る診療報酬上の措置について実効的な仕組みとなるよう見直し
- 外来医療の機能分化・連携に向けた、かかりつけ医機能に係る診療報酬上の措置の実態に即した適切な見直し
- 費用対効果を踏まえた後発医薬品の調剤体制に係る評価の見直し
- 薬局の収益状況、経営の効率性等も踏まえた多店舗を有する薬局等の評価の適正化
- OTC類似医薬品等の既収載の医薬品の保険給付範囲の見直しなど、薬剤給付の適正化の観点からの湿布薬の処方の適正化

要望事項の採用状況

〈外保連経由〉

下線は今回採用されたもの

未収載項目

①舌悪性腫瘍手術および鏡視下咽頭悪性腫瘍手術
②ロボット支援手術（喉頭・下咽頭悪性腫瘍手術、
　中咽頭悪性腫瘍手術（前壁切除）、
　中咽頭悪性腫瘍手術（前壁以外））
③内喉頭筋内注射（ボツリヌス毒素を用いた場合）
④鼓室形成術（経外耳道的内視鏡下）
　（上鼓室開放なしと上鼓室・乳突洞開放）
⑤鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（経鼻内視鏡下、頭蓋底郭清、再建）

〈内保連経由〉

下線は今回採用されたもの

未収載項目

①補聴器適応難聴指導料
②ビデオヘッドインパルス検査　(video Head Impulse Test)
③アレルギー性鼻炎免疫療法指導管理料

再評価項目

①中咽頭癌および原発不明癌検体のｐ16蛋白免疫染色
②上咽頭癌および原発不明癌検体におけるEBERs in situ
　　ハイブリダイゼーション（ISH）染色

〈日本医師会経由〉 ●は重点項目　下線は今回採用されたもの

❶　補聴器適応難聴指導管理料

❷　アレルギー性鼻炎免疫療法指導管理料

③　前庭機能代償促進生活指導料

④　B001 21　耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料の年齢制限等の要件緩和

⑤　B001 14 高度難聴指導管理料ロの算定回数の緩和

❻　D224 1　標準純音聴力検査の増点

⑦　好酸球性副鼻腔炎指導管理料

⑧　往診に係わる検査、処置の加算

⑨　A001　注８　外来管理加算の算定要件見直し

⑩　J114　ネブライザーの増点

R4改定影響予想

乳幼児には初再診とも全員に処置を施行し、耳鼻咽喉科乳幼児処置加算を算定、
初診時に3割の患者には抗菌薬を処方しないと仮定

	点数構成比（%）	固定点数(点)		レセプト1枚当たりの点数(点)		
		改定前	改定後	改定前	改定後	差
乳幼児初診（7割が抗菌薬適正使用支援加算を算定しない）	4.07	363	423	27.15	31.63	4.49
乳幼児再診	2.38	111	171	15.87	24.46	8.58
耳処置	0.84	25	27	5.60	6.05	0.45
鼻処置	1.36	14	16	9.07	10.37	1.30
口腔咽頭処置	0.11	14	16	0.73	0.84	0.10
耳鼻咽喉科小児抗菌薬適正使用支援加算（乳幼児初診の3割が算定と仮定）	1.74	363	503	11.61	16.08	4.48
計	8.76			70.04	89.43	19.39
レセプト1枚当たりの総点数(R2)(点)	667		改定後(R４)の総点数（予想)(点)			686.4

増点率　約3%